

調査番号	2	分野名	保護	予算区分	国庫・県単
調査名	松くい虫防除事業				
担当者名	野澤 彰夫			調査期間	昭和53年度～

目的

環境条件との相関から成虫の発生時期を推定するため、松くい虫発生消長調査を実施することとし、発生するマツノマダラカミキリ成虫数を調査した。

方法

マツノマダラカミキリ幼虫が付着している被害木をおおむね1mに玉切ったもの(1年目材)及び前年調査した材(2年目材)を場内の屋外に設置した網室の中に入れ、2013年5月から8月まで発生する成虫数を調査した。

結果概要

2013年5月から8月までのマツノマダラカミキリ成虫の発生数(1年目材と2年目材)は表-1～3のとおりであった。1年目材の発生(6/18～8/6)数は71(♂:38・♀:33)、2年目材の発生(6/14～7/12)数は47(♂:27・♀:20、同材の1年目発生数568)であった。

また、有効積算温量算出のための場内観測気象データ(3月～8月)についても報告した。

表-1 マツノマダラカミキリ羽化脱出数(1年目材)

脱出月	脱 出 日						計
	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～31	
5	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	2	8	6	16
7	10	17	12	9	5	0	53
8	1	1	0	0	0	0	2
計							71

表-2 マツノマダラカミキリ羽化脱出数(2年目材)

脱出月	脱 出 日						計
	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～31	
5	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	3	5	11	8	27
7	10	8	20	2	0	0	20
8	0	0	0	0	0	0	0
計							47

表-3 マツノマダラカミキリ羽化脱出数(合計)

脱出月	脱 出 日						計
	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～31	
5	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	3	7	19	14	43
7	20	25	14	9	5	0	73
8	1	1	0	0	0	0	2
計							118